

令和3年度の 財政事情

市の財政状況は、条例に基づき、1年ごとの回、市民の皆さんにお知らせしています。

今回は、令和3年度予算の収入と支出、市の借金や財産などの状況を令和4年3月31日現在の、図表にまとめました。

市の予算の出納は5月31日に閉めるため、各会計とも多少の未収入や未払いを残していますが、5月末まで全ての出納を終え、9月市議定例会に決算として報告します。

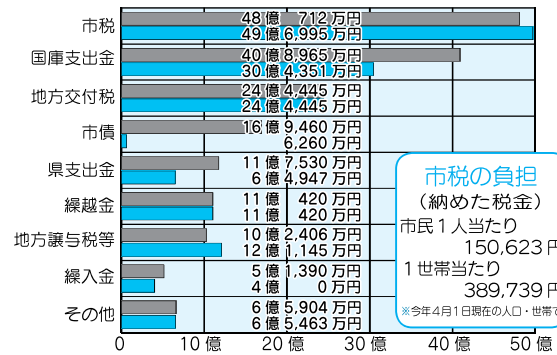
令和3年度予算の執行状況 ※ 令和4年3月31日現在 1万円未満は四捨五入

一般会計

一般会計は、福祉、教育、土木など市の一般的な仕事の大部分を賄う会計です。令和3年度一般会計最終予算額に前年度からの繰越額を加えた合計額は、175億1,232万円となっています。なお、歳入のうち「市債」の収入済額が特に低くなっているのは、市債の借入時期が出納整理期間の5月に集中しているためです。

歳入 (もらったお金)

収入済額 **145億4,026万円**
(収入割合 83.0%)

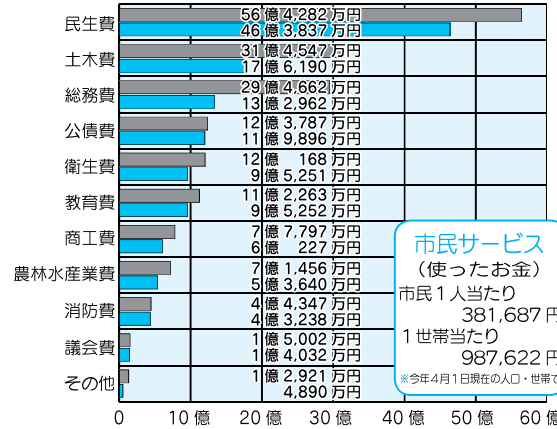


市税の負担
(納めた税金)
市民1人当たり
150,623円
1世帯当たり
389,739円
※今年4月1日現在の人口・世帯で

- ◆市税 市民の皆さんや法人が市に納める税金で、市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税を総称したものです。
- ◆国庫支出金・県支出金 いろいろな事業に対する国・県からの補助金、交付金などです。
- ◆地方交付税 全国の地方自治体が等しく事務を行えるよう、一定の基準により国から交付されるお金です。
- ◆市債 施設の整備などのために借りるお金です。
- ◆繰越金 前年度の会計から持ち越されたお金です。
- ◆地方譲与税等 国税として徴収された特定の税収を、一定の基準により市町村に譲与される税金や各種交付金などです。
- ◆繰入金 各基金から一般会計に繰り入れたお金です。

歳出 (使ったお金)

支出済額 **125億9,415万円**
(支出割合 71.9%)



市民サービス
(使ったお金)
市民1人当たり
381,687円
1世帯当たり
987,622円
※今年4月1日現在の人口・世帯で

- ◆民生費 高齢者、障がい者、児童の福祉や生活保護に使われます。
- ◆土木費 道路、公園、市営住宅などの整備や維持・管理に使われます。
- ◆総務費 市の一般的な管理、企画や選挙、戸籍・住民票事務などに使われます。
- ◆公債費 借り入れた市債の元金・利子の償還などに使われます。
- ◆衛生費 ごみ処理や環境保全、市民の健康増進などに使われます。
- ◆教育費 小・中学校、公民館の運営や、文化・スポーツの振興などに使われます。
- ◆商工費 商業や工業、観光の振興などに使われます。
- ◆農林水産業費 農業や林業、水産業の振興などに使われます。
- ◆消防費 消防、救急活動などに使われます。
- ◆議会費 議会の運営などに使われます。

特別会計

特別会計は、国民健康保険事業など、特定の歳入(国民健康保険税など)をもって特定の歳出(医療費など)に充てる事業を行う会計であり、一般会計と区別されます。

会計区分	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入割合	支出済額	支出割合
国民健康保険事業	31億5,767万円	24億7,986万円	78.5%	28億4,448万円	90.1%
後期高齢者医療事業	8億9,418万円	4億7,878万円	53.5%	7億1,058万円	79.5%
介護保険事業	31億8,586万円	28億6,995万円	90.1%	27億5,065万円	86.3%
工業団地造成事業	27万円	38万円	140.7%	0万円	0%
合計	72億3,798万円	58億2,897万円	80.5%	63億571万円	87.1%

企業会計

企業会計は、地方公営企業の全部または一部の適用を受ける公営企業の会計で、一般会計や特別会計と区別されます。本市では、水道事業と下水道事業が該当します。

水道事業会計		
収入	予算額	5億1,792万円
	収入済額	5億2,359万円
		収入割合 101.1%
支出	予算額	7億2,651万円
	支出済額	6億8,730万円
		支出割合 94.6%

下水道事業会計		
収入	予算額	25億4,279万円
	収入済額	24億8,286万円
		収入割合 97.6%
支出	予算額	31億1,643万円
	支出済額	28億8,758万円
		支出割合 92.7%

※収入・支出ともに収益的収支と資本的収支の合計額で表示しています。

市有財産の状況

<p>土地</p> <p>113万9,866㎡</p>	<p>建物</p> <p>17万172㎡</p>	<p>有価証券など</p> <p>2,150万円</p>	<p>基金</p> <p>58億3,715万円</p>
------------------------------------	---------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

市債の現在高

市債は、市が行う学校の改築事業などの大規模な建設事業などに認められる借入金で、利子をつけて返済するものです。

市債には、不足する資金を調達することのほか、長期的に返済することで、将来施設を利用する人たちにも公平に費用の一部を負担してもらうという目的があります。

会計区分	現在高
一般会計	104億7,074万円
水道事業会計	16億6,152万円
下水道事業会計	134億2,205万円
合計	255億5,431万円

市民1人当たりの借金 77万円
1世帯当たりの借金 200万円

※一般会計の市債には、臨時財政対策債(64億8,204万円)が含まれています。臨時財政対策債とは、国から地方自治体に分配する地方交付税の財源が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方自治体で借金をして賄っておく市債のことです。なお、市債の償還時にあわせて返済金額の全額が地方交付税で補てんされます。

一時借入金の現在高

一般会計、特別会計、企業会計の全会計で0円です。